

事務事業名	電子申請届出システム管理事業			会計	一般会計	事業種別	経常	開始	17	終了	
H27担当課等名	総務文書課	H27係等名	情報システム係	H26係等名	情報システム係						
基本計画上の位置づけ	政策	9	市民と共に進める行政経営								
	施策	93	良質な行政サービスの提供								

目的	対象(誰・何を)	飯田市に対する申請・届出手続き		対象指標	指標名及び単位	26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	インターネットから各種申請を行う			申請・届出手続きの数(手続き)	15
	向上させたい上位施策の成果指標	市での事業や住民サービス全般に対して信頼している市民の割合(%)				

目標	種別	指標名及び単位	26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	電子的申請の可能になった申請届出業務の数(手続き)	15	15	70	70	
定性目標							

事業概要

- ・ながの電子申請システムについては、長野県電子自治体協議会の中に電子申請・届出システムワーキンググループが設立され、県市町村共同システム構築の協議を踏まえ、平成19年度にシステムが構築され運用を開始。このシステムは、構築に関する経費を参加自治体で分担することから、単独構築に比べ経費負担の抑制が可能(平成25年度機器更新)。
- ・公共施設利用者の利便性の向上及び施設の利用促進を図るため、平成27年度稼働を目指して公共施設予約システムを導入。

26年度事業内容	事業内容	名称	活動指標
	1 ながの電子申請・届出システムの運用 2 公共施設予約システムの導入 (1) システム導入検討会議 (2) 先進地視察 (3) システム勉強会	1 電子申請受付業務数 2 (1) 会議開催数 (2) 視察数 (3) 勉強会開催数	1 15業務数 2 (1) 5回 (2) 2回 (3) 4回

事業コスト	25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	486	10,839	709	2,351	26年度予算額 その他 (一財)地域活性化センター補助金 不採択
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他		5,000			
一般財源	486	5,839	709	2,351	
人件費計(千円)②	72		536		
正規職員所要時間	20		150		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	558	10,839	1,245	2,351	

事業内容・目標達成状況の振り返り

- ・ながの電子申請システムについては、水道の届出や犬の登録等の電子申請を受け付けているが利用は低迷している。
- ・公共施設予約システムの導入については、施設管理の主管課と協働してシステム導入に向けて活動できた。

改革改善の考え方	①問題点	・ながの電子申請システムについては、市民及び職員に認知されていない。
	②改革提案	・ながの電子申請システムについては、システムの利便性を知る機会として職員研修等を開催することで、各課の事業の中でシステム導入ができないか検討してもらうことが手続数の増加と利用者数の増加につながるかと考える。 ・公共施設予約システムについては、引き続き施設管理の主管課と協働して、システムの安定稼働と利用者数の増加を促進していく。また、文化施設のシステム化についても検討を進める。